120. ホテルニューアルカイク衣裳室の照明設備

松浦 正
(工房アイデア)

浜松 秀明・山石 隆
(松下電工株式会社)

1・はじめに

ホテルニューアルカイクは、兵庫県尼崎市の都市整備計画を機に、同市主催のコンペにより誕生した。通常のシティホテルとしての機能ばかりでなく、地元のニーズや期待に応えるコミュニティホテルとしての役割も果たすために、さまざまな設備の充実が図られている。とりわけ貸衣裳コーナーを、従来のホテルと違ってメインフロアの1階に設けた点が大きな特長の1つである。

以下、この衣裳室の照明設備の概要について報告する。

2・照明計画

照明計画にあたっては以下の点について検討を行った。

- (1)着付室は披露宴会場で使用されている様々な光源と同じ色温度の設定ができ、宴会本番と同一の照明状態で衣裳の試着ができること。
- (2)ショーウィンドウは異なる婚礼衣裳の色彩に合わせて、最適な照明状態が設定できること。

3・照明設備

宴会場で使用されている光源は下記の通りである。

- ・小型クリプトン電球 (色温度 2 8 0 0 K)
- ・小型ハロゲン電球 (色温度 2 8 5 0 K)
- ・蛍光灯 (色温度 4 2 0 0 K)
- ・キセノンランプ (色温度 6 0 0 0 K)

これらの光源の色温度を同一の器具で再現できる色温度可変システムを、着付室に3台、ショーウィンドウに6台設置した。

システムの原理は、光の3原色であるRGB (赤緑青) 蛍光灯と白色蛍光灯を混光し、希望の色温度をコンピュータで自動的に演算し、制御システム内のメモリー素子に内蔵された約6万5千組のデータを読み出すことで3 0 0 0 Kから1 0 0 0 0 Kの色温度が再現できる。

4・おわりに

花嫁や親族が婚礼衣裳をゆっくり見られるのは衣裳室の中だけであり、最適な照明が作り出せるため、成約率も高くなったとの評価を得ている。

Lighting facilities for dress room of
Hotel New Archaic
Hideaki Hamamatsu